

院生活躍中!

RBS

NEWS &
TOPICS



ビジネスデザイン フォーラム

日常では得られない
「思考の心拍数をあげる」
感覚のある場所

今回のビジネスデザインフォーラムの開催は夏休み明けの9月12日に開催されました。現役生にとっては夏休みの通常生活の惰性により、学期中の感覚が喪失されつつある時期の開催であり、スタートアップとして非常に刺激的で良いイベントでありました。

今回は「名物講師の白熱授業を再現」というお題目にて、各時間2名の先生による1時間半の授業が3時間目まで設定されており、自由に受講できる、というイベントでした。

このイベントにはまさしく、選択式で授業を選べる自由度という意味での「RBSらしさ」や、グループでの話し合いや講師との掛け合いにより導かれるビジネス

クールとしての楽しさがありました。そして同時に、最も強く感じられたものとして、各先生方の理論やメッセージをこの1時間半という、講師にとっては非常に短い時間にぶつける、まさしく「一発勝負感」という感覚がその教室内に充満しており、これはこの場にしかないような感覚であったように思います。

先生方も真剣にこの1時間半の中で自身の考えを聴講者にぶつける、聴講者も必死になって先生の話を理解し、咀嚼し、自身の経験を交えて意見する。全てが真剣勝負の中にありながら、非常に静かな環境で進んでいく講義とは、日常生活の中では味わいにくい「非日常」の感覚にあふれた場所であり、それに伴って発生する「脳に汗をかく」ような、もしくは「思考の心拍数があがる」ような経験は、RBSの普段の授業でもなかなか味わえない、まさしく刺激的な環境でありました。是非来年も参加したいと思えるイベントでした。

(14期生 豊崎 勝啓)

留学生だより "The memory starts from here"

2015年3月に卒業した12期生の刑晶と申します。知識を吸収するだけでなく、多くの人との出会いを通じて、世界観がぐんと広がった大学院でした。社会人になったら、まずは仕事に慣れることからスタートし、三年後の目標を決めて、一步一步階段を登っていきたいです。



14期生の李闊(ブルース)と申します。中国から来ました。入学してもう半年になります。前期はすべて選択科目なので、好きな授業を選びました。基礎知識と専門知識を学んで、知らないところがたくさん出てきました。やはり勉強すればするほど、自分の知識が足りないと感じてしまいます。

立教の先生方は知らないところを丁寧に教えてくれます。同級生も社会人が多いので、たくさんの経験を積んでいて、アドバイスをもらっています。



2015年3月に卒業した12期生の張竜翔と申します。現在、ITコンサルティング会社で働いています。RBSは、留学生にとって一番日本の文化を身近に感じられるところだと思います。知識を学んだのちに、日本国内だけでなく、母国、世界にとって、立派な社会人になるために必要な知識を吸収することができます。



日々の仕事ではRBSで学んだことを大いに活かしていると感じます。RBSに入って本当に良かったと思っています。

13期生のエンコウと申します。私は立教大学より綺麗なキャンパスはないと信じています。海外からこんなに綺麗な大学に来られたのは幸せなことです。先生からのご指導、先輩からのご意見、同級生の皆さんからのご協力は私の一生の宝物になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました!



後輩の皆さん、立教での時間を楽しんでください。どんなに難しくても、どんなに辛くても、そのプロセスを楽しむことが一番大切だと思います。良い思い出となるように一緒に頑張りましょう!

13期生の史清と申します。立教から日本のおもてなしをしみじみと感じました。言葉や文化の違いに関わらず、皆が互いに手伝い一緒に頑張る日々は、とても懐かしかった。時々不安があっても、辛い時があっても、皆がいるからこそ落ち着いて頑張れます。就活では日本の会社に内定をいただき、来年から日本で働く予定です。



異国で、辛い時、寂しい時はきっとあるでしょうが、それは貴重な経験です。その経験はこれからきっと様々なところに役に立ちます。立教で、楽しんで学び、皆と仲良くして、充実した大学院生活を過ごしましょう。

14期生のアルワと申します。サウジアラビアから来ました。ここまで半年の大学院生活は毎日忙しく、充実して過ごしてきました。先生たちはとても知識豊かで、どんな細かいことでも親切に説明してくださいます。RBSを卒業した後は帰国する予定です。ここで学んだ知識を活かして、自分の会社を立ち上げたいと考えています。

